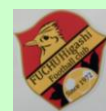


風は東から



To be continued...

順位決定戦最終戦 VS駒大高 1-1
リーグ初昇格(T4)を達成 !!

念願のTリーグ(T4)昇格 決定 !!

順位決定戦最終戦=高校サッカー公式戦ラストゲームは ドロー !!

11月26日(日)、三年生にとって高校サッカー最後の公式戦である、地区トップリーグ順位決定戦最終戦 VS 駒大高が、東高グラウンドで行われました。この日は、午前中に新人戦三回戦で片倉高校に勝利し、新チームは地区のベスト8を早々に決めました。

ここまで、地区トップリーグは、**1勝1分け**と得失点差で首位に立ち、最終戦は引き分け以上で**Tリーグ昇格**が決定します。前節の引き分けで**全勝優勝**の目は無くなりましたが、自力で優勝をするためには駒大高戦での**勝利は絶対条件です!!** 東高は三年生主体のメンバーで臨みました。

お互い今年度の地区トップリーグ最終戦ということもあり、多くの観客(基本的には身内ばかりですが…)が東高グラウンドを埋めました。絶好のサッカー日和の中、**14:00**にキックオフ!!



<地区トップリーグ順位決定戦最終戦 VS 駒大高 このユニフォーム姿もこれがラスト…>

今年度のチームは、ボールを保持する時間が長くゲームを優位に進め、ゴールも量産し結果を導いてきました。自分の記憶の中では、唯一ゴールを奪えなかったゲームは、TRMも通して5月に行われたインターハイ都大会の駒場高校戦だけではないでしょうか? 東高サッカーの課題といわれている守備面も、**金井コーチ**のTRが浸透しその成果が顕著に表れ、失点の形はセットプレーとカウンター、そして自分たちのケアレスミスから招くものに絞られました。

この日も、立ち上がりから駒大高ゴールに迫りますが、相手GKの勇敢なプレーと粘り強い守備陣、速いプレスに、前節の**葛飾野高校戦**同様、東高自慢の攻撃陣がなかなかゴールを奪えません。何度もTRMをしている相手にしっかり対応されましたが、それでも三年間のTRで信じて積み上げ、そして作り上げてきた「**F-Higashi style!!**」。相手に合わせるサッカーではなく、自分たちのサッカースタイルを押し通すのが「**東高の流儀**」です。

頼れる三年生コンビが、先制点を演出 !!

後半7分、久々のスタート出場の青柳(三年)のパスから、今年度の地区トップリーグ得点王をほぼ手中にしている鈴木(三年)が、見事なシュートを決めて先制しました。この勢いで、攻撃が一気に加速し追加点を上げ、駒大高を突き放しそのまま優勝を決めたかったのですが…。ここで、失点パターンの痛恨のミスが出てしまいます。もたつくところを突かれてボールを奪われてしまい、失点し同点に追い付かれてしまいました。優勝を自力で決めたい東高は、その後も怒涛の攻撃を見せ、いつも以上に拘った攻撃で相手の守備陣を抉じ開けようと執拗に中央突破を図ります。決定的なチャンスを人数掛けて何度も作り出しますが、結局、駒大高ゴールを奪えずに、**1-1**でタイムアップ。残念ながら地区トップリーグ優勝は逃してしまいましたが、リーグ戦負けなしの**8勝2分**という結果で、東高サッカー部**念願のTリーグ昇格**が決定しました。



〈どんな時でも、傍にいて声を枯らし、一緒に闘ってくれた仲間がいたことを忘れない !!〉

いよいよ本日が高校サッカー最終日 !!

12月2日(土)、いよいよ本日のTRMである VS 沼津工業が **44期生** サッカー部員にとって高校生活最後のゲームとなります。三年間、この東高グラウンド(聖地?)で積み上げてきた成果を、思う存分発揮して、いい意味で**フットボール**を心から楽しんで欲しいと思います。

<After the Game>

昨日、来年6月にロシアで開催されるワールドカップの組み合わせ抽選会が行われました。ブラジル、ドイツ、ベルギー、アルゼンチンなどの強豪国との対戦を熱望していた**ハリルジャパン**は、H組で**ポーランド・セネガル・コロンビア**と同組に決まりました。対戦相手も決まり、本番に向けてチーム作りや選手選考など気になることも盛りだくさん!!半年後に迫ったW杯に向けてこれからは楽しみ満載ですね。



さて、三年生は今日のTRMをもって高校サッカーは一区切り。これからは、進路活動に専念するもの、次の進路に向けて準備するもの、今後も進路先でサッカーを続けるもの、様々です。どんな時でも、毎日放課後になれば顔を合わせて同じ目標に向かい、ボールを蹴ってきた仲間と離れるのは少し寂しい気持ちもあると思いますが、子どもたちには、次の目標に向かってしっかりと歩いて行って欲しいと思います。高校サッカーはこれで一区切りですが高校生活はまだまだ続きます。卒業式まで、東高サッカー部員としてやり切って欲しいと思います。

最後に、ここまで東高サッカー部を育ててくれたTRMでお世話になった多くのチームやスタッフ陣、一番の理解者である保護者の方へ感謝の気持ちをいつまで持ち続けて欲しいと願っています。